

京都労山

2025年11月号

No. 389

発行日

2025年10月20日

発行所: 京都府勤労者山岳連盟 発行者: 中村好夫 編集製作: 機関誌委員会 発行: 毎月第3月曜日

所在地: ☎.616-8042 京都市右京区花園伊町4 ☎.075-275-0453 FAX.075-468-1793

【ホームページアドレス】 <http://www.dab.hi-ho.ne.jp/kyoto-rozan>



京都府勤労者山岳連盟

京都労山『六つの合い言葉』

- (一) 私達は、山を勤労者の身近なものにする為に力を合わせよう。
- (二) 私達は、登山によって健康な身体と豊かな心を育てよう。
- (三) 私達は、登山によって助け合う心と友情を深めよう。
- (四) 私達は、多くの人達と交流し山を愛する仲間を増やそう。
- (五) 私達は、力を合わせ正しい山のモラルと高い技術を生み出そう。
- (六) 私達は、安全で確実な登山思想を身につけよう。

11月号目次

* 六つの合い言葉・目次	
* ステップアップ 機関誌委員会	0 1
* 事務局長会議報告	0 2
* 自然保護セミナーの案内	0 3
* 自然保護講座 IN 青森の報告	0 4
* 女性委員会山行案内「小塩山」	0 6
* クライミング委員会山行報告	0 7
* 連盟交流会の案内	1 0
* 60周年事業実行委員会第11回の報告	1 1
* 大文字山登山道整備活動の案内	1 2
* 大文字山登山道整備活動の報告	1 3
* 能登半島地震被災者支援活動の報告	1 4
* 全国登山者研究集会の案内	1 5
* 二上山シンポジウムのお祝い	1 8
* 登山の筋力測定と講習	2 2
* 連載企画・二百名山登頂シリーズ第57回「黒姫山」	2 4
* 11月号の案内	2 5
* 連盟月間予定表「カレンダー」	裏表紙

ステップアップ

片足のアルピニストについて

「片足のアルピニスト」桑村雅治さんをご存じですか？

NHK のドキュメンタリー番組で放映され、本も出版されています。

8 歳の時に骨のガンである骨肉腫に冒されて左足を付け根から切断する手術を受けました。

生活は一変しましたが、もともとスポーツ万能で明るい性格であったことから友人も多く前向きな人生を歩むことが出来ました。

会社で働きながらあらゆるスポーツに親しみましたが、特に日本代表で出場したバドミントンやトライアスロンに打ち込みました

友人に誘われて、心肺機能を高めるトレーニングにいいと富士山に登ったそうです。日本一の山頂に立てたことと、その美しさに感動し、山に取り憑かれたと言います。手術したとしても生存確率は 10% 以下だったという事を後に知り、何か運命的なものを感じて障害者スポーツにもかわりその支援にも一役買っています。

テレビでは同じ障害をもった登山者を指導し、サポートしながら富士登山に臨んでいる様子が放映されていました。

山登りの途中で出会う登山者の反応には、ただ黙って見つめる人、会話した後に「よっしゃあ」と、とたんに歩きが速くなる若者、「ああ天狗様」と拝む人など様々です。足を失った障害者登山のパイオニアとして、日本百名山登頂を目標に登山を続けていますが、すでに 70 座を登っていてあと数年で 100 座に達する予定だそうです。

幌尻岳や飯豊山、長大な南アルプスを残していますがどうやって攻略するのでしょうか。早い段階で難所の剣岳や槍ヶ岳には既に登っています。

ただ、北穂高から大キレットを経て槍ヶ岳に登頂するにはいくつかの難所があるので、飛騨泣き、長谷川ピークなどはロープで確保するものの、絶対にテンションはかけない、としてそれ以外は全て自力で登ります。

道を切り開こうとする者が事故等で道を閉ざしてはいけません。剣岳は山仲間と登り、妻の許可が下りなかったため、ガイドを付けたのは大キレットと宮ノ浦岳二つです。

普段は週数回のジム通いで筋トレは欠かしません。妻との約束は「無理はしない」「絶対に生きて帰ってくる」だそうで、自然が相手なので止むなく撤退になっても準備やトレーニングは欠かさず、何度でも挑戦するという姿勢です。

「片足のアルピニスト」の姿勢から学ぶ事は多い、と思います。

(高野 寛)

事務局長会議報告 (各会と連盟の活動報告・意見交換・情報交換を目的に開催)

10月7日：やましな,乙訓,右京,西山,伏見,洛中,明峯,山城,亀岡,福知山 10 労山報告
各会の活動状況(前月の例会や集いの実施状況・予定等)[各会・クラブ機関誌参照]

・[右京]<例会>9/21 入道ヶ岳(鈴鹿 7)6 人,25~28 熊野古道小辺路 6 人<予定>
10/17~26 ヒマラヤトレッキング,19 三上山縦走<その他>9/30「2025 みんなで夏山
交流会」酔心 16 名参加、60 周年記念海外ヒマラヤは 11 名+1 名参加

・[やましな]<例会>9/10 グランドゴルフ 14 人,28 バスハイクトレ比叡山 16 人<
予定>10/12~13 公開バスハイク北八ヶ岳会員 30+10 参加予定,26 赤坂山<その他>
>懇親会 12 月ミヤコメッセ、ヒヤリハット 7 月,9 月ダニ付着報告有り。

・[西山]<例会>9/12 道なきポンポン山 14 人,14 読図山行瓢箪崩山 17 人,17~19
木曾駒ヶ岳 9 人<予定>10/5 集中登山希望ヶ丘 5 コース 80 人,17~18 九州オルレ
④武雄・嬉野コース<その他>11 月 22 日第 40 回定期総会

・[乙訓]<例会>9/6 比叡山(ヒエトレ) 5 人、20 沢山 4 人<予定>10/12 るり溪,
25~26 10 月の春合宿那岐山 23 人参加<その他>龍の小屋メンテ作業は継続。

・[洛中]<例会>9/15(60 プレ)船岡公園歴史散歩 9 人,20(60 プレ)東北 4 山(八幡
平・森吉山・秋田駒ヶ岳・早池峰山) 8 人<予定>10/14 霊仙山,25 比良釈迦岳,<
その他>2025 秋山合宿 11/8~9 みたらい溪谷と洞川温泉郷・バス利用 20 人参加

・[伏見] <例会>9/7 南山城・鹿背山 9 人,大文字山トレ 3 回 9/6,17,24 30 人<予
定>10/12~13 ビバーク訓練龍の小屋付近,10/20~21 銚子が峰<その他>「伏見山
の会の歌」完成。みんなで歌う。伏見山の会インスタグラム始める。

・[明峯]<例会>9/13 金勝アルプス 6 人,23 (大原 10 山) 金比羅~翠黛山 2 人,27(50
周年記念)比良を歩こう 5 人<予定>10/11 六甲全山縦走⑦,12 湖南アルプス<その
他>ヒヤリハット 9/13,27 の山行で足攣りが発生、無事下山できたが基準が難しい。

連盟の取り組み、活動報告 (連盟の取り組みや活動状況を連盟事務局から報告)

① 北部交流ハイク(ハイキング委員会)。9 月 28 日(日)「鬼が城」担当福知山山の会
10 労山 40 人+一般 17 人=57 人の大パーティ。天気、眺望よく交流が図れた

② 2025 交流会 11 月 8 日(土)予定。第 3 回のお知らせ京都労山 10 月号に掲載。
14 労山 120 名の参加。内容は 1. 交流ハイク(深山)2. 研修集会 3. 全体集会の 3 本柱。
会場は「あかまつの丘西本梅」参加費無料。亀岡駅に送迎無料バスを用意。60 周
年記念事業の一環。「京都 18 労山の交流と世代間での経験・技術の継承」に添った
内容としたい。

③ 2026 労山カレンダー申し込み、配布はじまる。1 部 800 円。

④ 第 19 回全国登山研究会開催。11 月 15 日~16 日新大阪ユースホテル。

11 月の事務局長会議は、11 月 4 日(火)PM 7 時半から。WEB 専用会議とします。

2025 年 自然保護セミナー

京都労山自然保護委員会

北陸新幹線延伸計画の車輛基地予定地の巨椋池干拓地は、京都府有数の豊かな鳥類の生息地で、希少野鳥も多く棲む重要なエリアです。

連続テーマ「北陸新幹線延伸計画」の環境問題を考える ＜講演＞「巨椋池干拓地の鳥類と新幹線車輛基地」

講師：日本野鳥の会京都支部から

日時：12月13日(土) 13:30～16:30

会場：京都教育文化センター 301号室

定員：60名 会員外の一般参加も歓迎 参加費：300円



＜現地での観察会＞

テーマ：巨椋池干拓地に生息する鳥類

日時：12月20日(土) 午前9時 近鉄小倉駅集合

徒歩で現地へ（約40分）12時頃小倉駅解散

講師：日本野鳥の会京都支部

定員：20名 参加費：別途（700円位予定、講師代及び保険料

申込先：各会の自然保護委員、または下記にお申込み下さい

担当射場（090-3613-2346 or SMS）まで

所属会、氏名、電話番号と、「セミナーのみ」、「観察会のみ」、「セミナーと観察会」を明示してください

切：11月20日（木）

第 27 回自然保護講座 in 青森 報告

自然保護委員会 平尾繁和

- 9月27日(土)13時30分～28日(日)12時30分

於：弘前市 岩木青少年スポーツセンター

- テーマ：「大型風力発電による自然破壊と健康被害」

- 参加：1日目：13都府県60名（会場46名、WEB14名）

（青森・岩手・宮城・埼玉・東京・千葉・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・全国、講師（北海道・秋田）

2日目：40名

- 記念講演

「風力発電が稼働した地域での課題」

講師：佐々木邦夫氏（風力発電を地域から考える全国協議会共同代表）

北海道では、陸上風力が460基稼働中で、その約4.3倍の1,993基が計画されている。（稼働中の59%が道北地方）洋上風力も日本海側中心に数多く計画されている。道北の宗谷地方は面積で京都府と同程度だが、そこに820基できる（稼働中239基、計画中581基）。経産省はこの地域を「特定風力集中整備地区」と指定し、送電網を整備する実証事業の担い手の事業者を公募中。第一次計画の蓄電設備は240MW（リチウムイオン電池）で世界最大級。風力発電により①風車騒音による影響、②シャドウフリッカーによる影響、③作業道における法面崩壊、④鳥類への影響（バードストライク）、⑥魚類への影響（絶滅危惧種）、⑦航空障害灯による影響など様々な問題がある。バードストライクについて、天然記念物で絶滅危惧種のおじろワシのバードストライクが営業開始から1年9ヶ月の間に11件発生している。地域外からの自由な経済活動を行う発電業者の利潤追求の場になっているのではないかと地域にとってのメリットは？意思決定への住民参加の問題、環境アセスの問題、エネルギーの地産地活など課題を提起された



- 風力発電の被害報告 A夫妻（元秋田県連会員）

秋田県由利本荘市では現在307基（小型は除く）の陸上風力発電と33基の洋上発電が稼働中。さらに東京タワーなみの巨大洋上風力発電240基計画中で、その離岸距離は1～5kmでヨーロッパの20～50kmに比べ極めて近い。

A氏の自宅から半径2.4km以内の3方向に10基の風車があり、低周波音による動悸や胸部痛、睡眠障害の健康被害が起こった。病院や市役所で話しても相手にしてもらえず、業者も夜間運転停止に応じないなか、毎日の健康状況を記録し続け風車の稼働状況と照らし合わせてみると、風車の稼働が健康被害の原因であることがわかった。これを知った長崎県の医師が全国で初めて「風車病」の診断

書を書いてくれた。さらに低周波を自宅で測定し症状との関連を解明するプロジェクトとが始まりクラウドファンディングも進んでいる。

●地方連盟からの報告（7 地方連盟）

- ・岩手：「岩手県連の自然保護活動の取組み」
大船渡市五葉山県立公園内メガソーラ計画は事業中止に
早池峰山の自然を守る活動（防鹿柵、外来植物駆除）
- ・宮城：「自然保護活動の報告」
（仮称）京ヶ森風力発電事業、石巻緑のハイキングロードでの風力発電計画
伊藤新道登山道整備支援活動
- ・京都：「北陸新幹線京都延伸計画について」
経過と取組、参院選挙を経て現在の局面
- ・大阪：「ライチョウ目撃情報」活動
ライチョウ目撃情報の報告（全国連盟HP、環境省生き物ログ）
- ・徳島：「風力発電施設の環境問題に関するレポート」
四国の風力発電の現状、風力発電がもたらす課題・懸念
- ・奈良：「奈良県連からの報告」
三重松阪蓮ウィンドファーム発電所計画、平群町メガソーラ問題
- ・滋賀：「滋賀県の風発その後」
三十山間山、美浜新庄、余呉南越前ウィンドファーム計画

質疑、討論を行った。

自然エネルギーの現状と課題、気候変動のもとどうエネルギー政策をすすめればいいのか等、風車の野生生物への影響等



●交流山行

2 日目は、青森・岩手県連のみなさんにお世話になり岩木山交流山行に参加した。40 名が参加、岩木スカイラインの 8 合目ターミナルから出発。3 班に分かれ地元会員の先導で山頂を目指す。鳳鳴ヒュッテから岩ゴロゴロの御神坂を登る。先日落石があったということで慎重に足を運ぶ。双子岩をこえ岩稜を登り山頂へ、360 度の眺望で日本海から津軽平野、白神山地が望めた。日本海側の海岸と平野に大型風車が林立していたのが確認できた。



京都労山 女性委員会 紅葉山行

小塩山 (642m)

雨天中止の場合は連絡をします。

京都の西山では第2の高峰で、山頂は淳和天皇陵があり、春にはカタクリの花が咲き、秋には金蔵寺等、紅葉の隠れた名所となっています。ゆっくり山行で行きたいと思います。 約5時間位

(山行日) 2025年11月30日(日)

(バス乗車時間) JR 向日町駅前バス時間 7時48分乗車

阪急東向日駅前(西口) 7時55分乗車

●いずれも 南春日町行

(集合場所) 南春日町バス停 集合時間 8時40分頃

(コース) 南春日町～金蔵寺～小塩山山頂～大原野神社～
南春日町バス停

(持ち物) 日帰り一般山行装備
(地図、周辺マップ等 持参お願い致します)

(締め切り) 11月26日(水)

申し込みの際に (所属会名)(氏名)(携帯番号)(緊急連絡先)
を必ず知らせて下さい

男性の参加、大歓迎です

(申し込み) 各会の女性委員
又は 乙訓山の会 小室澄枝
Gメール komuro58302@gmail.com
携帯 090-6915-9562

クライミング委員会山行 報告

沢登り 《南紀 奥山谷～大塔山》

日：9月21日(日)～22日(月) 晴れ

メンバー：青山大(やましな)、岩根(左京)、内野(洛中)

(個人的に)お久しぶりの南紀！

元々の計画では前夜発で奥山谷遡行成地谷下降でしたが、20日夜が雨予報のため、21日朝発、沢下降は諦めて奥山谷遡行(沢泊)して尾根を下るルートに変更。

9/21 山科駅に午前7時集合。

入渓地点(奥山谷橋)までの県道229号からのホイホイ坂林道で完全に車酔い。事前に調べていて覚悟はしていたものの、なかなかになかなかでした。

11時45分 スタート

小滝を越えていきます。所々なんともいやらしい小滝越えがあり、お助け紐とシヨルダー等でフォローしてもらいつつ進みます。これ2人だったら泣いてた。

前日の雨のためか水の透明度具合はそんなでもなく、でも緑色が綺麗。

続いてナメも登場し始めます。小滝
ナメ小滝ナメ…的な。

14時40分 甚五郎の滝45m

右岸のルンゼを高巻き。ここが想像より狭くて立って、落石に気を付けながら慎重に登りました。写真撮る余裕はなし。途中からのトラバースがまた悪くてヒィヒィ言いながらなんとか最短ルートで落ち口へ。少し行ったところの小屋跡の平坦地にタープはりました。

9/22 狭めのゴルジュ地帯を(私は苦勞しつつ)越えて、滝をいくつか巻き、谷をつめて稜線へ。荷物をデポして空身で大塔山へ。山頂保全のため防護フェンスと防風ネットが設置されています。草で三角点探すのに手間取りました。往復1時間位でしたがアップダウンあり長く感じるルートでした。荷物の



ところに戻って下山開始。足郷山まではまあ登山道でよかったですが、そこから登山道を離れて入渓地へと続く尾根は藪こぎと激下り。久しぶりの先頭ルーファイもあって結構疲れしました。

(ヒヤリハット？

下りで2回ほどIさん足つり&下山後腰痛発症)



沢登り 《比良 ヘク谷》

日:9月28日(日) 晴れ

メンバー: 青山大(やましな)、内野(洛中)、小泉(田辺)

天候は曇り。この時期の沢はかなり寒いのではないかと不安で、低体温症になってしまうは大変とザックに着替えと熱湯入り水筒を入れ込む。

7時54分に沢登り開始。今回2回目の私には沢が一番恐怖心をあおる。いつ滑ってもおかしくなく転倒したら打撲程度は簡単に起こると思うと、どうしても段差の所では手で身体を支えながら歩く。足の置き方等指摘を受けるが、ずっと足だけで歩くのはなかなか難しい。

沢に入ると思っていたほど寒くなくびっくり。歩く分には問題なしだが、さすがに腰より深くなると寒い。さらに滝になると登るのに手こずるため、身体に水を浴びまくりなお一層寒い。その中で1か所ロープをかけて登らなければならない難所があり、最初は滝の左側を登り途中から右側に移動する所では、足の置く場



所が無く水を身体全体で浴びてどんどん寒くなる。なかなか移動できない為息もしづらく、もう降ろしてと気持ちが切れかけるが、なんとか登りきる。その結果もう足に力が入らず休憩したかったが、最後尾だったので待ち時間が長く皆さん寒いとスタートする。(笑)

歩き始めて15分程度は踏ん張れずズルズルと滑るが、徐々に復活して進むも途中で下山時刻を考えて沢は終了。ちょっと悔しいが、いつもなら倍のスピードで歩くそうです。

登山道へ向かう為読図で方向、距離を指示され、すごいなと感じこの機会に勉強したいと思う。沢は普段味わうことの無い面白みがあり、来年はもうちょっと回数を増やし極めたい。15時17分駐車場着

時間 7:19 距離 5.7 km 登り 648m 下り 647m



.....

【クライミング委員募集のお知らせ】

※クライミング委員会では、委員志望者を随時受け付けています。

希望される方は、各山岳会を通じてクライミング委員会までご連絡ください。

連絡先：kr_climb@yahoo.co.jp

※委員について

- ・登攀要素を含む山行(クライミング・沢登り・雪山など)を目指している方
- ・労山基金5口以上、またはそれらに準ずる山岳保険に加入している方

《2025 年 交流会》 お知らせ 最終版

開催日：11 月 8 日(土) 場所：あかまつの丘 西本梅

① 交流ハイキング〔深山〕

集合場所・時間：るり溪温泉 第 4 駐車場(一番奥) 9:00

② 研修集会〔各会・クラブ、連盟の活動報告〕

集合場所・時間：あかまつの丘 西本梅 9:30

③ 全体集会〔安全登山と登山技術の継承〕

①②共にマイクロバス送迎あり 集合場所・時間：JR 亀岡駅(北口) 8:10

※バス経路：亀岡駅(8:10)～るり溪(9:00)～あかまつの丘(9:30)～るり溪～

～あかまつの丘(12:30)～亀岡駅(16:30 頃)

タイムテーブル

車でお越しの方はそれぞれ現地集合、マイクロバス利用の方は 8:10 に亀岡駅～

① 9:00～12:30 頃 ※下山後、あかまつの丘にて昼食時間

② 9:30～12:30 頃 12:30～13:30 昼食時間

③ 13:30～15:30 頃 ※片付けなどの後、各自解散

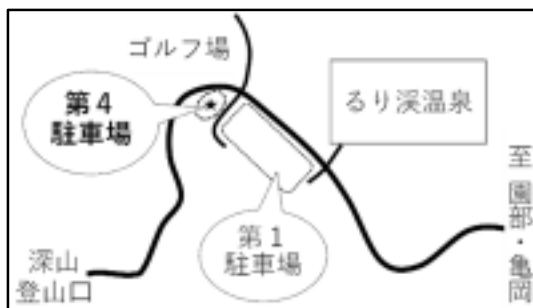
※雨天時は①を中止し②③のみ実施。

持ち物 交流ハイキング：日帰り登山装備一式

あかまつの丘 集会：上靴(スリッパ等)、筆記用具、他

昼食・飲み物など ※あかまつの丘周辺にコンビニなどはありません

参加費：無料



詳細などの問い合わせは、各会の 60 周年実行委員までお願いします。

担当：60 周年実行委員会(WAO 亀岡／左京／やましな)

第11回実行委員会(京都労山60周年記念事業)

記録 平尾

2025年10月15日(水) pm7時30分～8時30分 (リモート専用)

敬称略

参加者:山本(洛中)、宮内・安倉(田辺)、青山(やましな)、沖(山城)、岩根(左京)、近藤(乙訓)、高木(右京)、花折(明峯)、野原(WAO)、永田(西山)、西村、坪山、高野、平尾(連盟)/15人

<今回の内容>

1 2025 交流会について

- ・10月4日 担当3労山・西村で「深山」と「あかまつの丘」下見
- ・10月5日 参加申し込み〆切 参加人数120名 10月9日 ライン会議
今後10月22日ライン会議 11月1日「深山」再下見し登山道を整備予定

問題点

バス乗車者が31名(定員25+2)になったので4名を調整(田辺・山城→車) 済
交流山行参加者が100名近くになり、安全に十分配慮した対応が必要となった。

① 交流ハイク(深山)、WAO 亀岡が中心になって実施 記録 右京高木さん

- ・参加者が100名近くになり、安全登山のため各会混合の班分けはしない
WAOの参加者をリーダーに、左京、山科の参加者がサポートし、基本は各山の会ごとの登山とする(少数参加の山の会は他の会と合体)
駐車場では毎に受付(ガムテープに会名、氏名)したら順に出発する
- ・コースは危険な箇所もない眺望のよいコース
- ・山行のチェックポイント(注意点)について、WAOが細部を検討して実行委員にメールをする(クマ情報に注意し、対策は各会で)
- ・登山口まで国道を歩くので車に注意が必要、入口でWAO参加者が誘導する
- ・駐車場のトイレは10時から使用可、駐車場に集まるまでに済ませてほしい
- ・各会で山行届(登山計画書)を作成。山行全体の管理は、担当3会が登山口で登山・下山者をチェック確認する

- ・下山後「あかまつの丘」へ移動、13時30分までに体育館で昼食をとる

② 研修集会 会場は「あかまつの丘」図書室 9時30分～12時頃(予)

- ・資料は事務局で用意する 記録伏見高野さん
- ・会議終了後、参加者で午後の会場準備を行う

③ 全体集会 体育館 13時30分～15時30分

- ・3つの委員会・部からの報告、参加各会の短いスピーチ 記録乙訓近藤さん
- ・全員で後片付け後に解散

雨天でも交流会は実施する。山行は少雨決行(予)、山行できない場合は体育館で、何をするかは10/22の担当会のライン会議で検討する

次回 11月19日(水) PM7時半から WEB会議

京都府連盟登山道倒木整備 一大文字山を整備しよう

これまで登山道を使った感謝の念と恩返し、多くの登山者の安全のために

安祥寺上寺跡右俣登山道周辺の整備を行います。ここは谷が狭く、太く長い倒木が密集しているので今まで以上に危険が伴います。作業前には十分に打ち合わせと危険予知を行い、作業中も声を掛けあってケガのないように行動します。

これまでと同様に参加者の力量に応じて、力のある人はノコギリで倒木伐採、大木運搬、力のない人は小枝切り、小枝整理、声援と分担して行いますので誰でも参加できますのでご安心下さい。ケガをした場合は労山基金も対象になります。

登山道整備は京都大阪森林管理事務所の承認を得て実施しています。伐採する倒木には1本1本管理事務所の伐採許可番号札が貼り付けられています。

みんなで頑張って楽しく安全第一で整備しましょう。参加をお待ちしています。

★実施日： 11月1日（土曜日）12月6日（土曜日）

本降りは中止。小降りは状況によって実施。天候が怪しい時は前日か、当日の朝早く判断して中止メールを送ります。

怪しいなと思った時はメールを見て下さい。

★申し込み締め切り：実施週の月曜日

★集合場所：JR山科駅改札口付近 8時30分には出発します。

★参加申込先：連盟登山道整備担当 青山郁夫

080-3797-4392 携帯メール 2382m.ikuoi1025@ezweb.ne.jp

留守宅（緊急連絡先）も教えて下さい。

★参加条件：労山基金を含め山岳保険加入者

★持ち物：カップ、ヘッドランプ、レスキューシート、タオル、安いゴム手袋（なければ軍手）お弁当、救急薬品 ヘルメット（必携）、ノコギリ（なければお貸しします）、長靴（任意）、スパッツ（任意）、笑顔（必携）

★共同装備：ロープ、ビニール紐、カラビナ、サムスプリント

★その他

- ・作業の前には危険予知を相互に行い安全作業に努める。
- ・木が1/3切れたら声を掛けること。1/3でも突然、木が切れ落ちることがあるので注意！
- ・木を切る前には切れた木がどちらに落ちるか、跳ねるか常に予想して退避方法を考えておくこと。
- ・切った木を運ぶ時も木がどう動くか予測しておく。
- ・コロナはまだ続いています。

本人や同居家族で微熱や、咳、喉の痛み等がある場合は参加を取りやめて直ぐに発熱外来に行ってください。



京都府連盟 ～大文字山登山道倒木整備報告～

連盟登山道整備担当：青山郁夫

2025 年 9 月 27 日（晴れ）

やましな：郁夫、久子 右京：西村 市岡 田辺：宮内 乙訓：西村

山科駅 8:25--9:00 林道入り口 9:06--9:22 右俣整備 13:20--14:25 山科駅

乙訓：西村さん

涼しくて仕事が捗りました。足下が危なかった。

右京：西村さん

2ヶ月ぶりの参加で疲れました。久しぶりの重労働で大変でした。

右京：市岡さん

人数が多いと捗ります。きれいになりました。皆さんもどうぞ来てください。

乙訓：宮内さん

1ヶ月置いて来ました。今日は早く終わって良かったです。来月もこの調子でお願いしたい

やましな：青山久子

やはり人数に勝る力はありません。みんなが何度も沢の中を歩いたので、沢の中に歩道ができました。

やましな：青山郁夫

ヒヤリハットが2件も発生してしまった。幸いケガは無かったが一步誤れば重大事故が発生する所だった。危険予知を十分に行って安全作業に努める。

ヒヤリハット 2 件発生 同じ失敗は繰り返さないこと

① 急斜面で切った木を横向き落とした時に B さんの間際を通って落ちていった。木が B さんに当たったら B さんは転げ落ちる所だった。

原因：B さんとの距離と木の長さの目測誤り。危険予知不足。

対策：木は下に誰もいない所に落とす。危険予知を鋭くする。

② 急斜面で切った木を下に落とした時に登山道に置いてあったリュックをかすめて谷に落ちていった。木が当たっていたらリュックはどうなっていたことか。

原因：よもや木がリュックの方向に落ちて行くとは思わなかった。危険予知不足。

対策：木は下に何も無い所に落とす。危険予知を鋭くする。



整備前 木で一杯



整備後 綺麗になった



ヒヤリハット発生の木



皆で倒木を運ぶ

第 46 回 能登半島地震復興支援ボランティア報告

連盟ボランティア担当 青山郁夫

第 46 回 活動日：2025 年 9 月 21 日, 22 日 輪島市町野（労山石川県連） 七尾市 900km

参加者 やましな：青山郁夫 久子

9/20 雨 京都 9:54—羽咋市の気多大社参拝—17:20 農遊庵泊

9/21 晴 農遊庵 5:30—7:14 町野ボラセン—お墓で活動—町野ボラセン 16:45—18:32 農遊庵泊

★参加者：全体で 21 人 私たちの班 17 人、石川県連関係 15 人 京都 2 人

★活動内容：里町のお墓の泥土除去、墓石掘り出し、倒木除去、お墓道整備

9/22 晴 農遊庵 7:35—7:38 保育園—旭町倉庫—保育園 18:10—途中で仮眠—2:14 京都

★参加者：全体で 41 人 班員 17 人 2t トラック 3 台 軽トラ 4 台

★活動内容：旭町倉庫片づけ ななかクリーンセンター搬送

青山郁夫

9/21 今日は能登豪雨があった日。お墓はほぼ当時のままで荒れ果てていた。泥土除去、墓石掘り出し、倒木除去、お墓道整備を行った。完全ではないがお墓は綺麗になった。先祖代々のお墓が綺麗になっておじいちゃんもおばあちゃんも喜んで下さると思う。

9/22 おらっちゃ七尾の旭町倉庫は公費解体、自主解体の家から運び込まれた物品で一杯。どれもが地震や豪雨の前は家で使っていた物。こんなん捨てても良いの？と思われる物も多くあった。悲しくなった。みんなで頑張ってクリーンセンターに運んだ。

青山久子

奇しくも 9 月 21 日は奥能登を襲った豪雨災害からちょうど 1 年。この日に町野にいるのも何かの縁。9 時 30 分に町全体で黙とうを捧げる。お墓は地震で倒れ、土砂に埋もれたまま。お彼岸を迎えて少しでも地元の方がお参りできるように懸命に泥と格闘した。翌 22 日はおらっちゃ七尾の仮置き場旭町倉庫で仕分けと搬送。未だに母屋が被災して扉のない納屋に引っ越してこの冬を越す方がおられる。支援は 2 度目の冬を迎える。



9/21 石碑は軒並み倒れている。泥の掻き出しをした。 9/22 旭町倉庫の片づけ 搬送品で一杯。



9/17 に乙訓労山の方と珠洲市大谷に行った。大谷は地震と豪雨で壊滅的な被害を受けた。被災した家屋が当時のまま多く残っている。あれから 1 年経つのに現状は厳しいものであることを知ってほしい。

2025 年 10 月 15 日

各都道府県連盟 理事長

日本勤労者山岳連盟
理事長 川嶋 高志

第 19 回全国登山研究集会

実 施 要 綱

■テーマ 国民が求める多様な登山要求に対応するための組織強化を図ろう！

■目 的

組織数減少の折から、組織の強化と拡大について具体的な方法を考える。そのために、長く安全に山へ向かう知識と技術、未組織者へのアプローチ、自然保護について考える。

■期 日 2025 年 11 月 15 日（土）～16 日（日）

■会 場 新大阪ユースホステル（大阪府大阪市）

■参加対象 労山会員および全国の登山者

■主 催 日本勤労者山岳連盟

■主 管 全国登山研究集会実行委員会

■日 程 15 日 12 : 30 受付開始

13 : 00 開会あいさつ

日本勤労者山岳連盟理事長あいさつ

13 : 10～ 基調講演①「これからの労山」

内容：労山基金の成り立ちと今後の労山活動について

登山の意義と JWA Forever Plan

川嶋 高志（全国連盟理事長）

基調講演②「登山寿命の延長」

内容：100 歳で登山を目指してトレーニングと登り方

石川 昌（全国連盟副理事長・遭難対策部長）

16 : 00～ 分科会

19 : 00～ 夕食・懇親会

16 日 7 : 00～8 : 00 朝食

9 : 00～11 : 00 分科会

11 : 20～12 : 00 分科会の報告、全体で質疑・意見とまとめ・
解散

☆分科会

①「筋トレ」

筋力トレーニングによる転倒事故防止と登山寿命の延長、快適な山行について

これから行う中高年会員向けの筋トレ講習と期待できる大きな効果を紹介

②「組織拡大・教育」

市民が求める多様な登山要求への組織体制と教育システムについて。

組織拡大に成功した各地の事例を紹介する

③「自然保護」

自然保護活動の推進について（大規模開発の問題点）

第27回自然保護講座 in 青森での成果と今後の取り組みについて

■参加費用 円	A 一泊二食での参加	6,000
	B 日帰り参加（15・16日）両日でも1日でも資料代	500 円
	C 日帰り参加で15日の夕食・懇親会も参加	2,500 円

AとCは事前に振込（申込受付後、振込先を連絡します。）

Bは当日会場で現金払い

■宿 泊 F	新大阪ユースホステル
	〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島 1-13-13 10
	電話 06-6370-5427

■問合せ先	労山全国連盟事務局 TEL 03-3260-6331
	FAX 03-3235-4324 E-mail jwaf@jwaf.jp

参加申込締切 10月31日（金）まで延長します。
別紙申込書にて全国連盟事務局まで

2025 年 第 19 回全国登山研究集会 参加申込書

都道府県連盟 _____ 団体名 _____

【提出者】 氏名 _____ 電話 _____

メールアドレス _____

参加者名	会員番号または住所・電話番号・メール など連絡先	性別	年齢	分科会	参加 形態
		男 女			
		男 女			
		男 女			

分科会は下記の中から選択して番号を記載してください。

- ① 第1分科会「筋トレ」
- ② 第2分科会「組織拡大・教育」
- ③ 第3分科会「自然保護」

参加形態は下記の中から選択して記号記載して下さい。

- A 一泊二日 (6,000 円)
- B 日帰り (15・16 日の両日でも 1 日でも同じ 500 円)
- C 日帰り+15 日の夕食・懇親会 (2,500 円)

送付先：郵送 〒162-0814 東京都新宿区新小川町5番24号
日本勤労者山岳連盟・事務局あて

FAX 03-3235-4324 メール jwaf@jwaf.jp

参加費 (6,000 円、2,500 円) の振込先は、参加者に申込受付後、連絡します。振込が確認されて正式な申込受付となります。

二上山シンポジウムー二上山の自然・文化と産廃問題を考えるー ご参加及び協賛のお願い

2025 年 9 月 23 日

京都府勤労者山岳連盟様

二上山の自然を愛する会代表曾根秀一

拝啓

「二上山の自然を愛する会」は、2025 年 12 月 7 日に「二上山シンポジウム」を開催します。このシンポジウムは二上山の魅力とそこで起きている深刻な問題について知ってもらうことを目的としています。

会は、二上山の麓を流れる竹田川の異変をきっかけに発足しました 2017 年頃、川にヘドロが堆積し水生生物が消え、周辺の田んぼの稲が立ち枯れ、住民から健康不安が訴えられました。

金剛生駒紀泉国定公園の一部である二上山には、ササユリなどの貴重な生物が生息し、多くの登山者やハイカーに親しまれてきました。また万葉集に詠まれ、山麓にかけていくつもの社寺が点在し人々の崇敬をあつめてきました。

しかし、現在、山は大きく削られ、大規模な産業廃棄物中間処理場と汚泥などを処理した「再生土」で作られた巨大な「盛土」がそびえ立っています。この「盛土」は数百万トンにもなると推定されています。その結果、双耳峰の優美な景観は大きく損なわれ「二上山ではなく三上山」と言われるほどです。

会が実施した水質検査では、産業廃棄物処理場周辺で通常値を超える汚染が検出されています。また、「再生土」の安全性にも強い疑いを持っています。この問題に関して、会は奈良県や香芝市に水質検査など環境保全や景観の回復を求めてきました。そして国も含め各議会では、この二上山産廃問題が取り上げられています。

市民の健康と、二上山の豊かな自然・景観を守るため、会は今後も活動を続けていきます。シンポジウムへのご参加とともにご協賛(署名)をいただきますようお願い致します。なお協賛署名につきましては、10 月 31 日までに頂ければ幸いです。協賛署名については、当会ホームページ及び当日配布の資料等に掲載いたします。

謹白

記

- ・名称:二上山シンポジウム/二上山の自然・文化と産廃問題を考える
 - ・日時:2025 年 12 月 7 日(日)午後 1 時 30 分から午後 4 時 10 分
(同時開催二上山の魅力展 12:30～、野田淳子ミニコンサート 13:10～13:30)
 - ・場所:香芝市ふたかみ文化センター・市民ホール ロロ
- ※詳細は同封の「チラシ」、会ホームページをご参照ください。
ホームページ URL : <https://www.nijozanai.org/>

以上

※協賛署名についてはお手数ですが、同封の「協賛署名及び協賛金のお願いについて」をご覧ください。

協賛署名及び協賛金のお願について

シンポジウムにご協賛を頂きありがとうございます。つきましては協賛署名にご協力頂けますようお願い申し上げます。なお協賛署名につきましては、10月31日までに頂ければ幸いです。

1. 署名記入項目

①団体名(個人:お名前)、②ご住所(連絡先:都道府県、市町村までも可)、③代表者名(個人の場合は所属・肩書等)、④メール、⑤電話、⑥シンポジウム資料等の掲載の可否、⑦必要なシンポジウムチラシの枚数、⑧チラシの送付先、⑨その他

※資料、ホームページへの掲載項目は、団体名(個人名)、住所です。

2. 署名方法(団体・個人)

・ 当会ホームページの「協賛署名フォーム」を利用する場合

(ア)「二上山シンポジウム特設ページ」にアクセスする。URLは

<https://www.nijozanai.org/>二上山シンポジウム特設ページ

※日本語は全角、英数記号は半角です

(イ)「協賛署名フォーム」をクリックする

(ウ)項目「協賛署名する」などを選択し「次へ」をクリック

(エ)署名己人項目(*が付いている項目以外は任意)を入力し「送信」をクリックする。

(オ)「シンポジウム特設ページに戻る」のボタンをクリックして特設ページに戻る

※、「二上山シンポジウム特設ページ」は標準のメニューには表示されません。通常のページから特設ページへの移動は特設ページのURLを再入力してください。

※協賛署名の再入力は新規扱いになり、日付で新しいものが優先されます。

・ メールを利用する場合

当会メールアドレス nijozanai2025@gmail.com 宛てに署名(記人)項目①～⑨の項目をお送りください。

3. 協賛金について

協賛金はいくらでも任意です。ただ会として発足して3年、今回のシンポジウムのような大きな催しは初めてで経験、人員、財政、どれをとっても大変です。シンポジウムにご協賛いただき、さらに協賛金へのご協力が頂けるなら誠に幸いです。

■協賛金1口1000円から(何口でもけっこうです)

①銀行振込:ソニー銀行(0035)本店営業部(001)普通預金口座番号 2560008

口座名義カワハタオール(受取証は後日郵送いたします) ※振込人が個人名の場合は備考に団体名を記載してください

②シンポジウム当日(団体名等を封筒等に記載いただき受付までご持参ください)

ご協力ありがとうございました。二上山の自然を愛する会



二上山シンポジウム

二上山の自然・文化と産廃問題を考える

2025 **12/7** (日) 13:30~16:10

場所 香芝市・ふたかみ文化センター

市民ホール（奈良県香芝市）地図裏面

駐車場：市役所裏

開場 12:30 ~ 写真展（ロビー）

13:10 ~ 野田淳子の歌

ミニコンサート

13:30 ~ シンポジウム



申込不要、資料代実費300円

<シンポジウム>

佐藤隆春 二上山はどのようにできたか

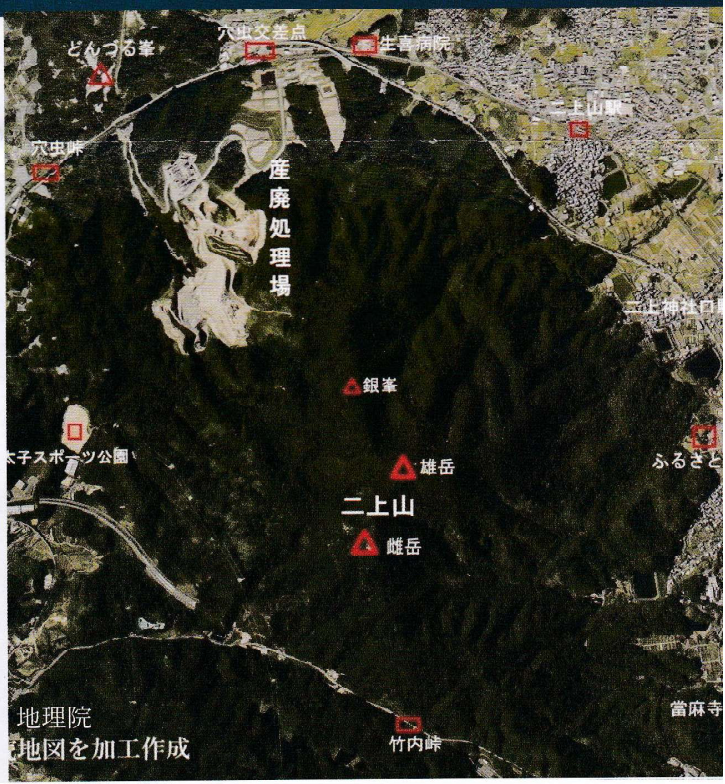
藤谷厚生 信仰の山二上山(仮題)

奥谷和夫 二上山の産廃問題

主催 二上山の自然を愛する会

<https://www.nijozanai.org>

nijozanai2025@gmail.com



地理院
地図を加工作成



二上山雄岳



二上山の自然を愛する会とは

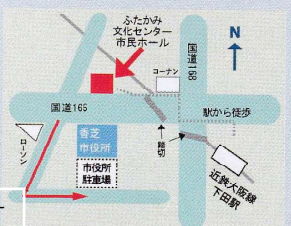
私たちの会は、香芝市を流れる竹田川の変貌をきっかけに発足した市民団体です。2017年頃から竹田川にヘドロが堆積し、水生生物の姿が消え、稲が立ち枯れるなどの異変が発生しました。住民の健康不安の声から、二上山の産業廃棄物処理施設に注目が集まり、2022年に「ガーネットの会」が結成され、その後「二上山の自然を愛する会」に発展しました。

会はこれまでに学習会や水質検査、産廃ピラミッドの見学会などを開催しました。産廃処理場の周辺でのべ30回以上実施した水質検査の大部分で、通常値を超える汚染を検出しています。二上山で大規模な開発を行っている足田建設は、2000年以降、産業廃棄物中間処理業者として操業し、おもに全国から汚泥等を収集。元従業員の告発によると、処理施設に持ち込まれた汚泥等は処理後最終処分地に出荷されず、「再生土」として積み上げられ巨大な盛土「産廃ピラミッド」をつくっています。この事業者は中間処理業者にもかかわらず、二上山が事実上の最終処分場になっているのです。また「再生土」の安全性に対して私たちは強い疑いをもっています。

この問題に対しては、国、奈良県、香芝市の各議会でもとりあげられました。奈良県は会の要請時に拒否していた水質検査の実施に踏み切りました。市民の健康と二上山の豊かな自然を守るため、会は活動を続けていきます。

◆ 会場地図

徒歩：
下田駅から8分
車：
市役所駐車場
会場へ徒歩 3分
(市役所脇を抜けて)



シンポジウム

◆ 講師紹介

- ・ 佐藤隆春：地質学者、理学博士、
大阪自然史博物館外来研究員
二上山、室生火山他に関する論文数多く
- ・ 藤谷厚生：四天王寺大学教授
四天王寺大学仏教文化研究所所長
研究分野：宗教社会学、仏教学
- ・ 奥谷和夫：山添村議
県内外の産廃問題に数多く携わる
著作「大和ゴミ物語」
「押し付け市町村合併からの脱却」



◆ 二上山の花

シライトソウ

ササユリ

ガマズミ



日本勤労者山岳連盟

登山の筋力

測定と講習

登山を続けても
体力は低下します

2025年10月～2026年4月



こんな効果があります

- ・ 体力的に余裕がある山行をしたい
筋力が強くなると体重や荷物を支える力を養えます
- ・ 年齢を重ねても登山を永く楽しめたい
体力が若返り登山寿命を伸ばせます
- ・ 転倒防止を防ぎたい
筋力が強くなるとバランスが良くなります



プロのトレーナーが指導します

筋トレの指導資格を持つ専門家で、アスリートから高齢者までの幅広い指導経験があります。丁寧な指導が好評です。プロの指導料は高額ですが労山の特別企画として低負担で受講できます。

主催：日本勤労者山岳連盟（遭難対策部）

申込・問合せ：03-3260-6331 メール：jwaf@jwaf.jp

所属会の了解を得て、申し込みファイル(全国連盟よりダウンロード)より9月5日(金)～10月6日(月)の期間に受付します。定員になり次第締め切ります。申込者には10月10日までに参加案内を送ります。

○対象者

40才以上の労山会員 30人(年齢の上限はありません。)

○内容

週3回の自宅トレーニングをしてスマホまたはパソコンで事務局に報告する必要があります。自宅でトレーニングができるように講師が指導します。体力測定を半年間で2回して効果を数値で出し比較します。奥多摩の本仁田山で登高能力テストをして参加者がめざす登山に必要な体力への到達度をみます。

○筋トレの種目

特別な器具を使わずに自宅でできるトレーニングを数種類実施します。

○兵庫県連の成果

- ・効果は個人差がありますが今回は筋力測定の平均値で男性 19.6%、女性 28.3%向上しました。
- ・登山能力テストで平均所要時間が3時間4分から2時間38分になり短縮できました。
- ・登山中のトラブル(膝、腰、大腿、その他の痛み疲労、だるさ、足の攣り等)が減少しました。
- ・講習終了後、個人の山行で「目標の山に行けた等」登山成果が出せるようになりました。



受講料 10,000 円

○日程

10月18日(土)	午前または午後	筋力測定1-1	参加して下さい
10月25日(土)		本仁田山登高能力テスト1	土曜日が雨の場合 日曜日に実施
10月26日(日)		本仁田山登高能力テスト1予備日	
11月22日(土)	午前または午後	筋力トレ1	すべてに参加が必要
11月29日(土)	午前または午後	筋力トレ2	
12月13日(土)	午前または午後	筋力トレ3	
1月31日(土)	午前または午後	筋力トレ4	
3月14日(土)	午前または午後	筋力トレ5	
4月4日(土)	午前または午後	筋力測定2-1	
4月11日(土)		本仁田山登高能力テスト1	土曜日が雨の場合 日曜日に実施
4月12日(日)		本仁田山登高能力テスト1予備日	

★会場：筋力測定はゴールドジム東陽町スーパーセンター
：筋トレ実技会場は全国連盟事務所1階会議室

<まとめ・報告>

16日(金) 自宅～北陸道～

23:55 自宅発～友人をピックアップ～給油～北陸道を走る。

17日(土) 上信越道～妙高高原 SA～妙高高原 IC～妙高高原スノーパーク～黒姫山～笹ヶ峰牧場

<コースタイム> 登り 3h22(4h)/下り h20(2h20/計 5h04(6h30)

05:50 頃妙高高原 SA 着。SA と言うのに食堂も GS も無い少し手前にあった新井ハイウェイオアシスにすべきだった。

06:00 頃ここでもう1台と合流。妙高高原 IC で下り黒姫山に向かう。直ぐにコンビニがあり朝食を購入。車内で食べ黒姫山登山口へ移動。

07:00 頃黒姫高原スノーパークP着。市営第2P 上方の物置小屋近くで歩いている2人に道を聞く。

07:16 黒姫高原スノーパークP発～小泉山道の標を行くがその先には表示が無い。とにかくグレンデを直

登しリフト最高所を目指す。グレンデの途中で暫し休憩。野尻湖を見下ろす。3人はここで下山し

2人で山頂へ向かう。

09:03 姫見台。ここで先程の2人に追いつく。大岩がありその上から紅葉に彩られた登山道と黒姫山への稜線を一望。

09:08 姫見台発。ここからは本格的な登山道になる。岩あり、木の根ありで中々歩き辛いがまだ急ではないのでここ迄なら途中で下山した3人も来れたかな。

09:31 越見尾根。ここから急登。汗をかき乍ら登る。立ち止まって左を見ると妙高山が朝日を浴びて輝いている。6人、15人…と計65人程抜いて行く。

09:31 黒姫乗越。ここからは少し緩やかな道だが木の根や岩が道を遮る。濡れて滑るのを踏み越えて進む。

10:38 黒姫山(2053m)登頂。先程の団体が来る前にと大急ぎで写真を撮り合い強風を避け岩陰で昼食。雲が出て眺望が悪くなって来た。

11:00 下山開始。次々とやって来る団体とすれ違い乍ら下る。

11:07 表登山道分岐～表登山道を下る。大岩が組み合わさった洞が点在する急坂。表と言い乍らこのルートに登って来る人は誰もいない。急登で敬遠されている様だ。40分程下るとブナ林帯。黄葉・紅葉が美しい。

12:00 日の出岩。登山道に突然現れた。ここから携帯で連絡するとまだ黒姫山麓に在るとの事。下山口迄迎えを頼み下山を急ぐ。

12:14 七曲り上。ここから落葉松林の中を大きく蛇行するジグザグ道。振幅が大きすぎて徒労感。

12:39 林道出合。地図が不鮮明な上林道が交錯していて分かり辛い。スキー場への標もあったが長水分岐迄そのままルートを下る。かつての長野オリンピックのノルディックスキーコースはノルディックウォーキングコースになっている。

13:20 長水分岐。県民の森と表示があるが地図には無く不明。休憩舎・トイレがありここ迄迎えに来て貰う事にして待つ。程無く迎えに来て貰えスキー場Pへ移動。

14:00 頃スキー場P～笹ヶ峰へ移動。

14:30 頃笹ヶ峰牧場内にあるグリーンハウスに着き宿泊。手続きを済ませ牧場内を散策。清水ヶ池等紅葉の美しさに別世界の感。小雨に振られたがとても良い所だ。こんな所で1日のんびりしたいものだ。

18日(日) 笹ヶ峰牧場～笹ヶ峰林道～雨飾温泉～帰宅

05:00 前に起床～散歩。今日は雨も上がり快晴。朝日に映えた紅葉の木々が美しい。

07:00 朝食を済ませ乙見湖や火打山登山道周辺を散策後笹ヶ峰林道を抜け雨飾温泉へ。妙高山の裾野に広がる広大な美しい紅葉に大満足。雨飾温泉の露天風呂も紅葉の木立に囲まれてとても良かった。

18:00 頃無事帰宅。



11月号案内

表紙の写真

屋根谷 克己 さん（らくなん山の会）

「柿」

家の庭になります。

柿の色が秋空に映え、とても綺麗です。



＊今年の梅雨は「メリハリ型」といわれ、大雨と猛暑を繰り返す特徴がありました。

梅雨入りは早かったものの、梅雨明けも早く総雨量は少ない「空梅雨」でした。穀倉地帯の田んぼは干上がり、収穫量の減少が報道されて米不足が毎日のようにニュースになりました。

秋の紅葉はどうなるかと心配されましたが、地域によっては、10年に一度と言われる鮮やかな紅葉を見に、立山や涸沢に多くの登山者が押し寄せています。週末や連休は天気が悪かったようですが、綺麗な紅葉を楽しめた人はラッキーでした。

＊今、政治の世界は暗雲が垂れ込めていますが、せめて自然の美しさに心を癒やされてみたいものです。

(H・T)

<お知らせ>

表紙のイラストや写真を提供ください

労山会員の方やお知り合いで連載を引き受けてくださる方をご紹介します。例えば「野鳥に詳しい方」「高山植物、野草に詳しい方」「コケやきのこに詳しい方」など会員みなさんに知識を広めてくださる方を募っています。

【投稿先】 京都府勤労者山岳連盟 機関誌委員会 高野 寛

メールアドレス hirossan-1954@nifty.com

＊原稿サイズ B5版 1行約36字 1頁約36行

＊字体 MS明朝体 11P 余白上、左、右各20mm 下23mm

2025年 京都府連盟 月間予定表

1 1 月 霜月・NOV		
1	土	大文字山登山道整備
2	日	
3	月	文化の日
4	火	自然保護委員会 事務局長会議
5	水	
6	木	
7	金	
8	土	連盟交流会 あかまつの丘
9	日	冬山勉強会 公開アイゼントレ・白坂
10	月	常任理事会
11	火	
12	水	
13	木	冬山勉強会 冬山の幕営生活技術
14	金	
15	土	全登研集会
16	日	全登研集会
17	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
18	火	教育委員会
19	水	
20	木	
21	金	やまびこ利用日
22	土	冬山勉強会 冬山テント泊と歩行訓練
23	日	勤労感謝の日 冬山テント泊と歩行訓練
24	月	振替休日 冬山テント泊と歩行訓練
25	火	気象勉強会
26	水	女性委員会
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	女性山行 小塩山 CL 小室

1 2 月 (師走・DEC)		
1	月	自然保護委員会
2	火	事務局長会議
3	水	
4	木	
5	金	
6	土	大文字山登山道整備
7	日	
8	月	常任理事会
9	火	
10	水	
11	木	冬山勉強会「雪崩の危険性・行動判断」
12	金	
13	土	自然保護セミナー (教文 301)
14	日	
15	月	京都労山印刷 ハイキング委員会 遭難対策委員会
16	火	教育委員会
17	木	
18	木	
19	金	
20	土	自然保護セミナー観察会 (巨椋池) 冬山勉強会「滑落停止とアイゼン歩行」
21	日	冬山勉強会「滑落停止とアイゼン歩行」
22	月	常任理事会
23	火	
24	水	女性委員会
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	木	
30	火	
31	水	